

# ほすびたる

No.702

平成28年7月20日  
福岡県病院協会

C O N T E N T S

- |               |                        |   |          |
|---------------|------------------------|---|----------|
| 会員広報          | 第4回定時会員総会              | 公益社団法人福岡県病院協会事務局                          | 1        |
| 声             | 医療分野への取り組み             | 公益社団法人福岡県病院協会 参与<br>株式会社福岡銀行 公務金融法人部長     | 成瀬 岳人 6  |
| 病院管理          | 精神科との架け橋として            | 福岡赤十字病院<br>精神科部長                          | 芝田寿美男 8  |
|               | 診療記録の重要性について           | 国立病院機構九州医療センター<br>医療情報管理センター 診療情報管理士      | 岩橋 克記 10 |
| 各種委員会の紹介 No.8 | 病院委員会のご紹介              | 病院委員会 委員長<br>国立病院機構福岡東医療センター 院長           | 上野 道雄 13 |
| 看護の窓          | 就任のご挨拶                 | 地方独立行政法人大牟田市立病院<br>理事・副院長・看護部長            | 羽江 和子 15 |
| Letter        | 中欧、音楽と歴史の旅<br>その2 医学史篇 | 国立病院機構九州医療センター 名誉院長<br>学校法人原学園原看護専門学校 学校長 | 朔 元則 16  |
| Essay         | 即席麺あれこれ                | 元医療法人誠十字病院<br>平衡神経科 医師                    | 安田 宏一 18 |
|               | 人体旅行記 土踏まず             | 国立病院機構九州医療センター<br>医療情報管理センター 部長           | 吉住 秀之 19 |

■福岡県私設病院協会  
平成28年6月福岡県私設病院協会の動き 20

■福岡県病院協会だより 21

■編集後記 岡嶋泰一郎 33

# Teleradiology Service. and ASP Service.

確かな診断を、より確かなものに。  
ネットワークを利用した読影サービスで、  
あなたをバックアップします。



## Teleradiology

～遠隔画像診断サービス～  
医療に地域格差があってはならない  
そう私たちは考えます。

## ASP Service

～遠隔画像診断ASPサービス～  
放射線科の先生向けに、遠隔  
読影システムから課金に至るまで  
統合的にサービスをご提供します。

## 株式会社ネット・メディカルセンター

〒815-0081 福岡市南区那の川1丁目24-1  
九電工福岡支店ビル6階  
フリーダイヤル:0120-270614 FAX:092-533-8867  
ホームページアドレス <http://www.nmed-center.co.jp/>

## 寝具・病衣・白衣・タオル及びカーテンのリース洗濯 患者私物衣類の洗濯

☆寝具・カーテン・看護衣・診察台カバー・タオル・紙おむつ・レセプト用紙  
介護用品等の販売、ベッドマットリース・販売、給食材料・給食依託業者・  
重油等の斡旋及び各種保険の取扱いもしております。

福岡県私設病院協会グループ

## 福岡医療関連協業組合

Clean & Comfortable



### 理事長 江頭 啓介

専務理事	佐田 正之	理事	津留 英智
理事	原 寛	監事	杉 健三
理事	陣内 重三	監事	松村 順
理事	牟田 和男	事務局長	関 賢司

〒811-2502 糟屋郡久山町大字山田 1217-17  
TEL 092-976-0500 / FAX 092-976-2247

# 福岡県病院協会 第4回定時会員総会

◎公益社団法人福岡県病院協会事務局

日時 平成28年6月21日（火）17時～  
場所 福岡県医師会館6F 研修室3  
出席者 当日出席者 26名  
委任状提出者 181名  
計207名（総会員数 248名中）

## ■開会宣言

上野道雄専務理事は、第4回定時会員総会開会を宣言。

## ■総会成立宣言

岡嶋泰一郎議長は、定款第22条による定足数は総会員数248名の過半数125名であり、出席者は委任状提出者を含めて207名で定足数を超過しており、総会は適法に成立する旨を報告。

## ■会長挨拶

石橋達朗会長挨拶。

## ■議事録署名人選出

岡嶋議長は、本日の議事録署名人として、飯田三雄九州中央病院院長と吉村恭幸社会保険田川病院名誉院長を選出。

## ■議案審議（岡嶋議長）

### ○第1号議案「平成27年度事業報告について」

上野専務理事から概ね次のように報告された。

#### I 総務関係 ～会員数について

平成27年度は、入会者は1会員、退会者は3会員であり、この結果、同年度末の会員数は251会員である。

#### II 総会の開催状況

##### 1 第3回 定時会員総会

期 日 平成27年6月16日

場 所 福岡市博多区博多駅南二丁目  
福岡県医師会館 研修室3

議案等 次の議案について原案どおり承認された。

- (1)平成26年度事業報告について
- (2)平成26年度収支決算について

## 会計監査報告

(3)会費等に関する定款施行規則の一部改正について

(4)参与の委嘱について

## 2 平成27年度 臨時会員総会

期 日 平成28年3月22日

場 所 福岡市博多区博多駅前三丁目  
ANAクラウンプラザホテル福岡  
2階「ウイステリア」

議案等 次の議案について原案どおり承認された。

- (1)平成28年度福岡県病院協会事業計画(案)
- (2)平成28年度福岡県病院協会収支予算(案)
- (3)理事の補充選任について

## III 理事会について

8月を除き毎月理事会を開催し、会務の執行に当たった。（詳細は議案書に記載のとおり）

## IV 「ほすびたる」関係

ほすびたる編集委員会を毎月開催し、No.687（平成27年4月号）から、No.698（平成28年3月号）まで「ほすびたる」を12回発刊した。（詳細は議案書に記載のとおり）

## V 研修会・県民公開医療シンポジウム等関係

### 1 各種委員会等の開催状況

看護委員会（第1回 H27. 4. 24、第2回 H28. 1. 27）、経営管理委員会（第1回 H27. 12. 17、第2回 H28. 3. 10）、栄養管理委員会（第1回 H27. 11. 11、第2回 H28. 3. 9）、臨床検査委員会（第1回

H27. 10. 6、第2回 H28. 3. 11)、医療事務委員会(第1回 H27.7.2)、リハビリテーション委員会(第1回 H27.7.9、第2回 H28.1.14)、診療情報管理研究委員会(第1回 H28.1.20)、企画委員会(第1回 H28.1.12、第2回 H28.2.9)、病院委員会(第1回 H27.11.10)を延べ15回開催し、各研修会の企画立案等について協議した。

また、平成27年12月8日には、参与・各種委員会正副委員長・役員懇談会が開催された。

## 2 各種研修会・県民公開医療シンポジウムの実施状況

次のとおりであった。

月別	研修会名	開催期日	会場	参加者数
4月	第1回経営管理研究会	27. 4.25	九州大学病院臨床大講堂	198名
6月	第142回看護研修会	27. 6.10	九州大学医学部百年講堂	350名
8月	第143回看護研修会	27. 8. 7	九州大学医学部百年講堂	500名
	第51回診療情報管理研究研修会	27. 8.28	九州大学医学部百年講堂	216名
	第64回栄養管理研修会	27. 8.29	九州大学病院臨床大講堂	267名
10月	第144回看護研修会	27.10. 2	久留米大学筑水会館	121名
	第1回リハビリテーション研修会	27.10.24	福岡大学メディカルホール	313名
12月	第145回看護研修会	27.12.18	ナースプラザ福岡	459名
1月	第1回病院システム管理研修会	28. 1.30	九州大学医学部百年講堂	90名
3月	第2回経営管理研究会	28. 3. 1	九州大学医学部百年講堂	110名
	平成27年度病院研修会	28. 3.11	九州大学医学部百年講堂	241名
	第52回診療情報管理研究研修会	28. 3.14	九州大学医学部百年講堂	214名
	第2回リハビリテーション研修会	28. 3.26	九州大学医学部百年講堂	287名
	第115回医療事務研究会	28. 3.29	九州大学医学部百年講堂	271名
8月	第9回県民公開医療シンポジウム	27. 8. 1	えーるピア久留米	143名

## VI その他の事項(主なもの)

1 地域医療構想策定に向けた動きに対応するため、福岡県私設病院協会と協力し、「地域医療構想合同研究会」を立ち上げ、平成27年6月9日、7月14日、10月27日、11月24日の4回にわたって協議を行った。

2 平成28年1月22日、ホテルグランヴィア岡山(岡山市)において、岡山県病院協会の主催により、第21回四県(福岡、岡山、広島、山口)病院協会連絡協議会が開催され、当協会からは4名が参加した。

3 当協会のホームページが作成され、平成28年2月から公開された。これにより、当協会主催の研修会・県民公開医療シンポジウムについての情報提供、会員名簿・機関誌・事業内容の閲覧、各種様式のダウンロードが可能となった。

4 カネミ倉庫株式会社代表取締役から契約更新願いがあった「カネミ油症患者に関する治療費の支払いについての契約」を平成27年12月20日付けで1年間更新した。

以上、第1号議案については、全員の拍手をもって承認された。

## ○ 第2号議案「平成27年度収支決算について」

### 会計監査報告

#### I 平成27年度収支決算

平財務理事から収支決算について、「貸借対照表」及び「平成27年度正味財産増減計算書内訳表」に基づき概要説明があり、審議の結果原案どおり承認された。

なお、「貸借対照表」及び「平成27年度正味財産増減計算書内訳表」は、次頁のとおりである。

貸借対照表  
(平成 28 年 3 月 31 日現在)

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金	2,770,849	3,429,952	- 659,103
普通預金 (福岡銀行赤坂門支店)	1,364,363	3,429,850	- 2,065,487
定期預金	200,000		200,000
郵便振替	1,206,486	102	1,206,384
未収会費	450,000	300,000	150,000
未収金	50,000	10,000	40,000
広告料	10,000	10,000	
その他	40,000		40,000
前払金	35,700	4,104	31,596
流動資産合計	3,306,549	3,744,056	- 437,507
2 固定資産			
(1) 基本財産			
(2) その他固定資産			
退職給与積立金	5,540,000	5,540,000	
財政調整積立金	10,000,000	10,000,000	
その他固定資産合計	15,540,000	15,540,000	
固定資産合計	15,540,000	15,540,000	
資産の部合計	18,846,549	19,284,056	- 437,507
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金	140,145	608,296	- 468,151
前受金	343,900	443,300	- 99,400
会費		50,000	- 50,000
広告料	343,900	393,300	- 49,400
預り金	232,143	306,267	- 74,124
社会保険料	78,198	90,873	- 12,675
雇用保険料	61,025	138,394	- 77,369
源泉所得税	82,920	75,000	7,920
その他	10,000	2,000	8,000
流動負債合計	716,188	1,357,863	- 641,675
2 固定負債			
負債の部合計	716,188	1,357,863	- 641,675
III 正味財産の部			
1 指定正味財産			
2 一般正味財産	18,130,361	17,926,193	204,168
正味財産の部合計	18,130,361	17,926,193	204,168
負債及び正味財産合計	18,846,549	19,284,056	- 437,507

正味財産増減計算書内訳表 (抜粋)

(平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日)

(単位：円)

科 目 名	公益目的事業会計				収益事業等会計				法人会計	合 計
	シンポジウム	研 修	公益共通	小 計	機関紙	研究会	収益共通	小 計		
I 一般正味財産増減の部										
1 経常収益										
(1) 経常収益										
特定資産運用益						20,500	20,500			20,500
受取入会金			10,000	10,000				10,000		20,000
受取会費			4,392,500	4,392,500		1,882,500	1,882,500	6,275,000		12,550,000
事業収益	990,000	10,065,950		11,055,950	1,420,400	1,837,500		3,257,900		14,313,850
受取補助金等	625,000	1,875,000		2,500,000	2,888,000	722,000		3,610,000		6,110,000
雑収益		12,000		12,000			2,280	2,280	22,696	36,976
経常収益計	1,615,000	11,952,950	4,402,500	17,970,450	4,308,400	2,559,500	1,905,280	8,773,180	6,307,696	33,051,326
(2) 経常費用										
事業費	3,925,110	13,987,354	455,000	18,367,464	6,695,176	1,664,205		8,359,381		26,726,845
管理費									6,070,313	6,070,313
経常費用計	3,925,110	13,987,354	455,000	18,367,464	6,695,176	1,664,025	0	8,359,381	6,070,313	32,797,158
当期計上増減額	-2,310,110	-2,034,404	3,947,500	-397,014	-2,386,776	895,295	1,905,280	413,799	237,383	254,168
2 経常外増減の部										
税引前当期一般正味財産増減	-2,310,110	-2,034,404	3,947,500	-397,014	-2,386,776	895,295	1,905,280	413,799	237,383	254,168
法人税、住民税及び事業税									50,000	50,000
当期一般正味財産増減額	-2,310,110	-2,034,404	3,947,500	-397,014	-2,386,776	895,295	1,905,280	413,799	187,383	204,168
一般正味財産期首残高	-4,089,432	-3,955,843	12,656,700	4,611,425	-4,811,205	2,638,793		-2,172,412	15,487,180	17,926,193
一般正味財産期末残高	-6,399,542	-5,990,247	16,604,200	4,214,411	-7,197,981	3,534,088	1,905,280	-1,758,613	15,674,563	18,130,361
II 指定正味財産増減宜										
III 正味財産期末残高	-6,399,542	-5,990,247	16,604,200	4,214,411	-7,197,981	3,534,088	1,905,280	-1,758,613	15,674,563	18,130,361

II 平成27年度収支決算に係る会計監査報告  
福重監事から会計監査報告。  
平成27年度の会計については、収支決算書のとおり適正に処理されている旨報告された。

以上、第2号議案については、全員の拍手をもって承認された。

### ○ 第3号議案「役員改選について」

専務理事は、現在の当協会の役員の任期は本日までであることから、新たに選任する必要があり、5月20日付で、全会員宛に立候補届及び推薦届の提出を依頼したところ、締切日までに、理事には竹中賢治福岡市立病院機構福岡市民病院院長を始め25名が立候補、監事には津田泰夫福岡通信病院院長を始め2名が立候補、議長には、岡嶋泰一郎社会保険仲原病院院長、副議長には、梅野守男早良病院院長が立候補され、いずれも定款に定める定数以内であることを説明した。なお、本総会において選任された場合、直ちに役員に就任するとともに、任期は、平成30年度の定時会員総会までとなる旨を補足した。

議長は、本議案について質疑等を求めたが、特に質疑や異議の申し出等はなかったため、選任手続きに入った。議長は、定款第17条第3項の規定に基づき、「理事又は監事を選任する議案を決議するに際しては、候補者ごとに行わなければならない。」ことを説明のうえ一人ずつ決議する旨を述べ、候補者ごとに賛成者の拍手を求めたところ、竹中賢治候補者を始め25名の理事候補者全員が過半数を超える拍手により選任された。

次に議長は、監事の選任に移り、同様にして、

津田泰夫候補者を始め2名の監事が選任された。さらに、議長は議長及び副議長の選任に移り、同様にして、岡嶋泰一郎候補者が議長に、梅野守男候補者が副議長に選任された。

(理事会において会長等の役員選出を行うため、一旦休憩)

議長は会員総会を再開し、専務理事は、会長に石橋達朗理事が選出され、そのほか副会長4名、専務理事、総務理事、財務理事及び企画理事、また、16名の各種委員会担当理事が選出されたことを報告した。

さらに、専務理事は、新たに八木博司監事の顧問就任が理事会で承認されたので、会員総会の議決を求めた。議長は、本件について質疑等を求めたが、特に質疑や異議の申し出等はなかったため、議場に諮ったところ、八木氏の顧問就任が全員の拍手により承認可決された。

(新役員及び各種委員会担当理事は次頁のとおり)

### ○ 第4号議案「参与の委嘱について」

専務理事は、推薦団体の人事異動等により、新たに推薦のあった成瀬岳人(株)福岡銀行公務金融法人部長について、参与就任について会員総会の承認を求めた。議長が、議場に諮ったところ、全員の拍手をもって承認可決された。

### ■ 議案審議終了

岡嶋議長の議案審議終了宣言。

### ■ 総会終了

専務理事から、議長に対する謝辞と閉会が述べられ、第4回定時会員総会は滞りなく終了した。

**公益社団法人 福岡県病院協会 役員等名簿**  
(任期：平成 26 年 5 月 27 日～平成 28 年度定時会員総会終結時)

役職名	担当委員会	氏 名	所属病院及び役職
会 長		石橋 達朗	九州大学病院 病院長
副 会 長		志波 直人	久留米大学病院 病院長
〃		佐多 竹良	産業医科大学病院 病院長
〃		井上 亨	福岡大学病院 病院長
〃		竹中 賢治	福岡市立病院機構福岡市民病院 院長
専務理事		平 祐二	医療法人原三信病院 理事長兼院長
総務理事	リハビリテーション	上野 道雄	国立病院機構福岡東医療センター 院長
財務理事	経営管理	澄井 俊彦	国立病院機構小倉医療センター 院長
企画理事	臨床検査	壁村 哲平	福岡市医師会成人病センター 院長
理 事	病 院	安藤 文英	医療法人西福岡病院 理事長
〃	栄 養	飯田 三雄	公立学校共済組合九州中央病院 病院長
〃		一宮 仁	国家公務員共済組合連合会浜の町病院 院長
〃	臨床検査	江頭 啓介	医療法人社団江頭会さくら病院 理事長兼院長
〃		岡留健一郎	済生会福岡総合病院 病院長
〃	医療事務	大塚 毅	宗像医師会病院 院長
〃	医療事務	小嶋 享二	福岡県立精神医療センター太宰府病院 院長
〃	リハビリテーション	小柳 左門	特定医療法人原土井病院 病院長
〃	看 護	島 弘志	社会医療法人雪の聖母会聖マリア病院 病院長
〃	経営管理	津留 英智	医療法人社団水光会宗像水光会総合病院 理事長
〃	看 護	寺坂 禮治	福岡赤十字病院 院長
〃		深堀 元文	医療法人社団益豊会 今宿病院 理事長兼院長
〃	診療情報管理研究	増本 陽秀	株式会社麻生飯塚病院 院長
〃	診療情報管理研究	村中 光	国立病院機構九州医療センター 院長
〃	病 院	吉田 正	地方独立行政法人筑後市立病院 理事長兼院長
〃	栄 養	吉村 恭幸	一般社団法人福岡県社会保険医療協会 会長
監 事		津田 泰夫	福岡通信病院 院長
〃		原 寿郎	福岡市立病院機構福岡市立こども病院 院長
議 長		岡嶋泰一郎	社会保険仲原病院 院長
副 議 長		梅野 守男	早良病院 院長
顧 問		今泉暢登志	医療法人済世会河野病院 院長
〃		河野 正美	医療法人済世会河野病院 理事長
〃		瓦林達比古	公益財団福岡県すこやか健康事業団 理事長
〃		久保 千春	九州大学 総長
〃		八木 博司	特定医療法人八木厚生会八木病院 会長

## 医療分野への取り組み

公益社団法人 福岡県病院協会 参与 成瀬 岳人  
株式会社福岡銀行 公務金融法人部長

高齢化の進展による社会保障費の上昇は、我が国の財政事情悪化の大きな要因のひとつとなっております。こうしたなか、政府は超高齢化社会における社会保障制度の持続性を確保するため、「社会保障と税の一体改革案」を公表、団塊の世代が75歳以上となる2025年に向けた医療・介護のあるべき姿「2025年モデル」を提示しました。

「2025年モデル」では「入院医療の機能分化」、「医療機関間および医療と介護の連携」、「在宅医療の充実」をより進めることで、限りある医療資源（人材、財源、機器等）の最適な運用を図り、より効果的・効率的な医療・介護サービスの提供体制を構築していくための方向性を示しています。

また2016年度の診療報酬改定では前回に引き続き①病床機能の明確化②病院完結型医療から地域完結型医療への転換が大きな柱となっており、「2025年モデル」に沿った経営に取り組む医療機関に財源が厚く配分される内容となっています。各医療機関は自らが担うべき機能の明確化はもとより、一層の機能強化や機能の転換、さらには他の医療機関や介護事業者との連携強化への対応も迫られています。

これからも福岡銀行では医療・介護を中心としたヘルスケア産業を今後の日本社会を支える重要な成長産業のひとつとして位置づけ「2025年モデル」の実現に向けた医療機関の経営課題解決を支援してまいりたいと考えております。

具体的な医療機関・介護事業者のお客様への

サポート体制として、平成16年10月に「医療教育福祉グループ」を全国地銀に先駆けて発足しました。その後、適時適切な組織体制を図りながら、ヘルスケア業界における業種・事業規模に関わらず、サービス提案ができる体制整備を図るべく、平成28年4月より「ソリューション部ヘルスケアグループ」として刷新しました。病院、診療所（歯科を含む）、介護事業、調剤薬局などヘルスケア業界全般へのサービスとして「① キャッシュフローマネジメント」「② 経営改善コンサルティング」「③ 病床再編シミュレーション」「④ 介護施設・高齢者向け住宅事業へのサポート」「⑤ 事業承継・M&A支援」「⑥ 開業支援」「⑦ 外部専門家・ヘルスケアファンド等の紹介・活用、各種セミナーの開催」（図表1参照）などのメニューを提供させていただいています。

また、時期を同じく平成28年4月より産業金融部フィナンシャルアドバイザーグループを新設しました。産業金融部フィナンシャルアドバイザーグループにおいて、医療分野については、今後地域の「人口減少」「高齢化社会進展」「需要縮小」「労働供給力減少」などを想定し、ヘルスケア産業の調査分析を行い、「産業（業界）に対する洞察力」「財務・事業に対する目利き力」「戦略シナリオ策定実行を促す提案力」「投融資一体提供力」「再編・M&A等の専門ノウハウ」「外部・域外とのネットワーク」をもって、長期的視野に基づく医療機関や介護事業者のお客様への支援を行ってまいります。

医療制度改革・診療報酬改定・少子高齢化等、ヘルスケア業界を取り巻く環境は激変

### 福岡銀行ヘルスケアグループが提供するサービス

～病院・クリニック・介護・調剤等ヘルスケア業界に関するソリューション営業を行います～

① キャッシュフローマネジメント	資産内容・損益状況に応じた最適な形でのお借入金組換のご提案を行います。
② 経営改善コンサルティング	経営施策・変動要因の分析・中長期的な事業計画策定のサポート、経営改善のご提案等を行います。
③ 病床再編シミュレーション	病床再編（病棟）等の収支シミュレーションのご提案を行います。
④ 介護施設・高齢者向け住宅事業へのサポート	少子高齢化の進展に伴う介護施設・高齢者向け住宅事業への取組にかかるサポートを行います。
⑤ 事業承継・M&A支援	後継者への承継・後継者探しを含めて、ハッピーリタイア等に至るまでのサポートを行います。また、M&A実行に関するアドバイスを行います。
⑥ 開業支援	開業支援（診療所、介護施設等）、および医療モールの紹介等を行います。
⑦ 外部専門家・ヘルスケアファンド等の紹介・活用、各種セミナーの開催	税理士・弁護士等、外部専門家・ヘルスケアファンド等とタイアップすることにより、幅広いニーズへご対応します。

図表1 ヘルスケアグループが提供するサービス

## おもいやりの心でサポートします

県内精神科病院の寝具及び下着類の洗濯・貸与・販売・補修業務一切  
他にグループ保険・病院賠償責任保険等の各種保険

### 福岡県精神科病院協同組合

理事長 富松 愈

〒810-0005 福岡市中央区清川三丁目14番20号 2F  
TEL092-521-0690/FAX092-524-4632

九州一円の医療機関経営をサポートする  
福岡県精神科病院協同組合100%出資会社

### 有限会社 DMS (ドリーム・メディカル・サービス)

〒810-0005 福岡市中央区清川三丁目14番20号 3F  
TEL092-525-7666・7667/FAX092-525-7668

## 精神科との架け橋として

福岡赤十字病院  
精神科部長

芝田 寿美男

### ご挨拶

当科は総合病院精神科ですが入院病床を持たない、俗に「ひとり医長体制」と呼ばれる常勤医1名のみ精神科です。このような体制は全国でも珍しくありません。赤十字病院全体を見渡しても、入院病床を持つ精神科は減り続けているのです。全国赤十字病院から精神科だけが集まる親睦会というのを年1回開催するのですが、その場でいつも話題になるのが入院病床の削減や閉鎖という問題です。

「うつ病」などストレス社会の問題や認知症患者など、世論的には精神科医療の需要は増えているように見えます。総合病院に精神科病床があるほうが問題解決に有効だと思うのですが、減りこそすれ病床が決して増えないのが実情です。この理由は簡単で、精神科単科での診療報酬が低すぎて、精神科病床は持てば持つほど総合病院全体が収支赤字に近づくためです。このような不景気な話題でいきなり申し訳ありません。

精神科でなぜこれほど診療報酬が低く抑えられているのか不思議です。入院患者も外来患者も薄利多売とばかりに数多く捌かなければ医療経済的に成立しないのです。変な話ですが、患者さんの話をゆっくり聞いていると経営的に破綻します。精神科に来る患者さんたちもよくわかっていて、開業したばかりのクリニックには「今ならゆっくり話を聞いてくれるから狙い目だよ」とネットで情報が出回り駆けつけます。そのうち患者がひしめき合っただけ話を聞く暇もなくなると知っているからです。このような現状

は本当に不思議なのですが、事実です。

さて内科などに入院している患者に精神的な問題が生じて、精神科が介入することを「リエゾン」と呼びます。当院のような病床のない精神科ではこのリエゾンの機会が増えます。リエゾンとは「橋渡し」「連携」という意味を持つ言葉ですが、今回は精神科という診療科との架け橋になるお話をさせていただこうと思います。

### 精神科の謎

精神科というのは不思議な診療科です。単にミステリアスだとか忌避される対象というだけではなく、一般診療科と比較すれば謎が多くて敷居が高いというか大きな壁がある感じですか。かくいう私も、精神科に入局するまでは知り得なかった事実が数多く存在していました。

精神科は医療と呼べるのか診療科として成立しているのか、精神科医には独自の技術職としての能力はあるのか、はなはだ疑問に感じられます。当事者である私が口にすべきではありませんが、皆さんもそのような疑問を感じたことがきっとあるはずですよ。

精神科医療の特殊さはさまざまな要素が入り交じったごく単純な問題から生じています。制度として置かれ続けた環境に大きく左右されていると思うのです。精神科には精神科特例という法律が生き残っています。それは第二次世界大戦後に精神障害者やその疑いのある患者を急ごしらえで収容入院させるための措置でした。患者48人当たり医師1人で構わないという信

じられない診療体制なのですが、そのかわり診療報酬自体は低く抑えられました。精神障害の患者は治るとか社会復帰するとは考えられておらず、社会から隔離さえすれば良いと判断されました。精神科医にも患者を改善させるとか治療するという役割は期待されていませんでした。その後数十年が経過して、薬物治療や社会復帰プログラムや精神療法の発展により、精神障害にもさまざまな病態があることが判明して治癒や社会復帰が考えられるように変化しました。社会の中で患者当事者の発言が強くなってきたことも大きいと思います。

それでも残念な事に精神科医療のシステムは患者を隔離するだけで治療など考えない前世紀的な状況のままなのです。今世紀に入りようやく精神科特例も部分廃止されたのですが、あまり状況は変化しませんでした。何故ならば日本の精神科病床の90%以上は民間病院にありますが、そこでは精神科特例が存続したからです。つまり日本の精神科病床の10%未満だけで精神科特例が廃止されたに過ぎず、診療報酬については基本低く抑えられたままなのです。

ここで「民間病院の儲け主義の悪い奴らが精神科特例全廃に反対しているのだな」という見方をするのは間違っています。現状のような診療報酬のままで精神科特例が外されては、とくに日本で一番多い200床前後の民間精神病院は廃業せざるを得ません。一方で総合病院にある病床では手厚い精神科医療を提供できているかと言えばそうでもありません。総合病院では手術や検査の患者を入院させる事で、外科や内科での診療報酬を精神科病床で請求して見かけ上の赤字解消を図ります。精神科特例の外れた一般病床並の人員配置になると精神科診療報酬だけでは赤字収益が確保だからです。外科や内科の下請けのような病床とならざるを得ず、精神科治療に専念できない状況です。総合病院の中でも丁寧な精神科治療をおこなわざるを得ない

大学病院では、当然のように赤字病床です。私立医科大を始めとして大学病院でも収益を理由に精神科入院日数は厳しい状況に置かれます。長期入院は漫然とした療養入院と同じとみなされ、診療報酬が抑制されるためです。数ヶ月に及び時間のかかる丁寧な治療はおこなえなくなります。これも変な話で、例えば平均的な手術時間は4時間なのでそれを越えて手術室を使用すると診療報酬を減額すると言っているようなものだからです。本当に精神科は不思議な診療科なのです。

## 精神科医と精神療法

精神科でも1例1例を丁寧に診療すれば社会復帰や治癒に向かうかといえば、残念ながらそうでもありません。いくら努力しても難治の精神障害が存在しており、統合失調症や躁うつ病の一群は治療改善を阻むからです。しかし精神疾患は一種類ではありません。強迫性障害やパニック障害のような不安障害やうつ病のように、社会復帰や治癒が望める疾患も数多く存在します。ところが治癒が望める精神疾患の治療が出来ない、という問題が浮かび上がります。丁寧に治療して結果を出す訓練を精神科医が受けていないからです。

外科療法の訓練を受けて外科治療がおこなえる医師を外科医と呼びます。同じ理屈で、精神療法がおこなえるのが精神科医のはずです。ところが大学病院の精神科に精神療法系の研究室を持たない医局が今では多いのです。そのため体系立てて精神療法を学んでいない精神科医がほとんどで、たいていは耳学問のようにして身につけています。技術としては当然不十分ですが、多数派ですからそれが標準だとされています。制度上は精神療法の保険請求資格は医師だけに認められています。たとえ体系立てて精神療法を身につけていても臨床心理士では請求で

きないのです。精神療法という技術に関する精神科医の立場は張り子の虎状態に置かれています。

もしも精神科特例が全廃されて診療報酬が十分に認められたとしても、それに応える専門技術が甚だ怪しい訳です。精神科の内部でもそれではまずいと、精神科医としての技術を担保する資格作りに奔走しています。一時期は「精神保健指定医」という法律関連の資格を技術資格であるかのように粉飾してきましたが、近年は専門医という資格作りを試みています。診療技術自体は不問にして、経験年数と知識が技術であると誤解されかねない内容に留まるので、技術資格としての問題は多いと思います。それよりもまずは精神科医局を中心に精神療法の研修

システムをどのように構築するかから始めるべきではないでしょうか。私は行動療法（認知行動療法）という精神療法を身につける機会に恵まれました。行動療法の研修と教育の目的で九州大学病院精神科との連携を今も続けています。制度としてまだ何も担保されてなくとも、精神科医としての技術を育てる必要があると信じているからです。

以上のように精神科の現状は制度、診療報酬、診療技術の三竦みの状態に陥っています。精神科内部でもさまざまな立場から現状を打破しようと試みられていますが、まだ大きく変わらないままです。皆さんにとって謎の多い診療科かもしれませんが、今回のお話が少しでも橋渡しとなれば幸いです。

## 病院管理

# 診療記録の重要性について

国立病院機構九州医療センター  
医療情報管理センター 診療情報管理士

岩橋 克記

## 1. はじめに

平成6年4月～平成26年6月までの約20年間地域の民間病院に勤務し、医事課及び診療情報管理士として診療報酬の請求やDPC準備病院としてデータを提出してきたが、平成26年7月より九州医療センターで新たな道を歩み始めた。両施設を経験し感じたことを以下述べたいと思う。

## 2. 当時の業務について

診療情報管理士の資格を取得したのは平成

24年のことであり、資格取得当時は診療情報管理士としてどのように仕事を展開してよいか分からず、診療情報管理士会の地域ミーティングや他の勉強会に参加して自分なりに診療記録の重要性等について勉強し、理解して診療記録や退院サマリーの記載内容の充実化を目標として業務をおこなってきた。

当時の日常業務の一つとして行っていた入院診療記録監査は独自の監査用紙を作成して、退院処理が終わった診療録を毎日監査し不備や疑義等があれば担当医師や担当病棟へ確認および訂正依頼をしていた。

また、DPCデータについても独自の入力票

を作成して、それを基に様式1のデータ入力を行い、正確なコーディングを目標に診療記録を読み日々業務を行ってきた。

診療記録の不備やDPCにおける詳細不明コードの使用頻度や医師への確認が必要となった事項は、診療情報管理委員会、DPC委員会を毎月開催することで報告してきた。

これまで自分なりに診療記録の重要性について理解し、診療記録や退院サマリーの記載内容の充実化を目標として業務をおこなってきたが、平成26年7月より診療記録の監査やDPCについて日本の先駆けである、九州医療センターに勤務し、日々の業務を行っていく中、診療記録や退院時サマリーの記載量、記載の質の違いを目のあたりにした。

### 3. 九州医療センターの診療記録と監査について

九州医療センターの診療記録は毎日の医師による記載量が多く、記入内容の質が充実しており退院サマリーについても同様に転科ごとにサマリーが記入してある。

DPCについては、DPC病名とサマリー病名が一致し、詳細不明コードの使用も少ない。

九州医療センターでは、診療記録の重要性について病院全体が理解しており、診療情報管理士による監査が記録を正確に残すために徹底しておこなわれている。

診療情報管理士による監査は、退院時要約(サマリー)を受領した翌日に、診療情報管理システムへ病名・手術等の登録を行い、同時に診療記録とDPCとの整合性の監査を行っている。

監査確認事項は、①診断が正しく記載されているか、②記載が義務づけられているものについて診療記録に記載漏れはないか、③診療行為に附属した各種書類は揃っているか、④署名・捺印・日付などは洩れていないか、⑤保険医療機関として規則に則った記載がさ

れているかなどであり、入院診療記録の監査では、退院時要約(サマリー)について、①右・左・印字など書き間違いや変換ミスはないか、②規定の項目が満たされているか、③退院日や手術日等日付の間違ひはないか、経過記録の監査では、①経過記録とサマリー内容との整合がとれているか、②毎日記録が書かれているかなどである。

監査での不備や疑義については、担当医師へ文書にて確認を行っている。

### 4. 診療記録の重要性(価値)

診療記録の重要性(価値)については、一般的にマルコム・トーマス・マッケレンの次のような項目が挙げられる、

- 1) Value to the patient  
(患者にとっての価値)
- 2) Value to the hospital  
(病院にとっての価値)
- 3) Value to the physician  
(医師にとっての価値)
- 4) Value in legal defense  
(法的防衛上の価値)
- 5) Value in public health  
(公衆衛生上の価値)
- 6) Value in medical research  
(医学研究上の価値)

Malcolm Thomas  
MacEachern  
Medical records in  
the hospital より

日本では医療保険上の価値などとも言われている。

### 5. 最近の動向として

最近の医療制度の動向として、医療事故調査報告制度が昨年10月より開始され、死亡や死産が予期された場合、予め患者又は家族に説明し、説明した内容をカルテに記載しておくことが必要である。

なぜなら正確な診療録を残しておくことが、自分たちの診療行為を証明するのに重要になるからである。

また、全国がん登録が2016年1月より開始、がんと診断された人のデータを都道府県知事に届け出ることが義務化され、登録対象患者を診療録から拾い上げることになる。

全国がん登録の目的は日本でがんと診断されたすべての人のデータを、国で1つにまとめて集計・分析・管理することである、そのため病院が正確なデータを作成し届け出さなければ、価値のあるデータはできないことになる。

医療事故調査報告制度、全国がん登録ともに基本となるのは、診療記録であり、診療記録の価値や診療記録の重要性が更に高まっている。

## 6. まとめ

今後の医療制度は予測することはできないが、正確な診療記録を残すことが重要であり、医療機関の規模や形態に関わらず、正確な診療記録を将来のため、患者のために残すことが必要である。

そのため精度が高く、第三者にも理解できる記録を作成し、それを適切に管理・保存することが重要だ。

新たな医療制度が開始されていく現在、九州医療センターでは診療情報管理士が診療記録の監査を妥協することなく行うことで、診療記録の記載内容の充実化が図られ、DPCや様々な医療制度開始においても迅速に対応できている。

将来どのような医療制度が開始されるか予測できないが、正確で記載内容が充実した診療記録を残していくことが重要であると再認識した。



一番大切な思いやり…  
「安心・安全・清潔」

**TAIYO 太陽セランドグループ**

**太陽セランドホールディングス株式会社**  
〒812-0044 福岡市博多区千代1-1-5  
TEL 092-641-2578 FAX 092-641-5778

**太陽セランド株式会社**  
〒826-0042 福岡県田川市大字川宮1200  
TEL 0947-44-1847 FAX 0947-44-5805

代表取締役 社長 **中島 健介**

太陽セランドグループ会社

┃太陽セランドホールディングス株式会社	┃太陽セランド株式会社	┃太陽インダストリー株式会社	┃太陽シルバーサービス株式会社
┃太陽ホテルリネン株式会社	┃ジャパンエアマット株式会社	┃株式会社北九州シーアイシー研究所	┃株式会社メディカルナビゲーション
┃株式会社セランド	┃株式会社サンウエックス	┃株式会社おたふく屋	

医療関連 サービスマーク認定

お問い合わせ TEL 0947-44-1847 Mail [info@taiyoseland.co.jp](mailto:info@taiyoseland.co.jp) Web <http://www.taiyoseland.co.jp>

# 各種委員会 の紹介

No. 8

## 病院委員会の紹介

病院委員会 委員長 上野 道雄  
国立病院機構福岡東医療センター 院長

福岡県病院協会が公益法人の認可を受ける際、最も評価されたことは各種の研修会の開催であった。ところが、医師、あるいは病院を対象とした委員会は何故ないかとの質問を頂いた。当然のご指摘ながら、各種研修会への医師の出席数を考えると、病院研修会は不安の残る船出であった。始まったばかりの医療事故調査制度を話題にすると、第3回病院研修会は大丈夫に違いないと気楽に考えていたところ、突然、日本医師会と日本医療安全調査機構から医療機関向けの研修会が直前の2月20日に開催された。病院研修会は同一の講師で、3月11日の開催予定、暗澹たる思いで当日を迎えた。恐る恐る会場に向かうと、241名の参加者で、例年に比べ、医師の参加者が多かった。小生にとって、小さな奇跡でした。開催を心配する小生の愚痴を聞いた、役員諸兄のご配慮の賜物と、感謝と安堵の一日でした。会員の諸兄、病院研修会の開催はある意味、本協会の看板ですが、何時も参加者数を心配しています。是非、病院研修会への出席、宜しくお願い致します。

研修会では、小生が医療事故調査制度の問題点を、馬場文子福岡東医療センター医療安全係長が院内の医療安全体制に関して話しました。今回の制度では、当該医療機関が主体となって支援団体の協力を得て、診療行為に関連した予期しない死亡事例に潜む病態を解明する。最大の長所は当該医療機関や関係者が疑問や思いを

自由に述べる。忌憚のない審議で、思い込みや先入観を排除して、関係者や遺族の疑問に答える。当該医療機関は支援団体との協力作業の過程で医療事故調査制度の理念と手順を学び、院内の医療安全体制の強化を果たすことができる。ところが、遺族の苦情をきっかけとした報告が多い。医療事故調査制度に参加して成功体験を得て本制度の理念を受け入れられると、関係者が心を開いて調査に臨むことができる。受け入れの途ははまだ険しいと話しました。本県では、平成24年から福岡県医師会方式（医療事故調査制度と実質的にほぼ同一）を行っているため、他府県と違って、具体的な問題や当事者の心情に関する質問を頂き、今までの努力が少々実ったことを実感しました。

つづいて、馬場師長は「医療安全の根幹は早期報告と病院を挙げた対応であるが、病院に対する信頼がないと、絵に描いた餅である。」と切々と、信頼感を熟成する過程を訴えました。全国を回って、何時も彼女の話で、小生の話に真実味が添えられます。本当に感謝しています。医療事故調査制度の成否と医療安全体制の強化は、医療機関が医療事故調査制度を信頼できるか、医療機関の職員が病院と管理者を信頼して心を開けるか、医師と看護師が互いを信頼して、互いの長所を生かした連携を育むかにかかっているようです。

## 第65回 栄養管理研修会のご案内

開催日 平成28年8月27日（土） 9：50～16：10

場所 九州大学医学部百年講堂「大ホール」  
福岡市東区馬出3丁目1-1 TEL 092-642-6258

参加料 会員病院 1人につき 3,500円  
会員外病院など 1人につき 5,000円

テーマ 「高齢者の栄養管理 ～病態理解に基づいた栄養管理～」

講演Ⅰ 「高齢者糖尿病の病態」  
九州大学病院腎・高血圧・脳血管内科  
九州大学大学院医学研究院病態機能内科学 助教 中村 宇大 先生

講演Ⅱ 「慢性腎臓病の栄養管理」  
福岡赤十字病院血液浄化療法内科 部長 満生 浩司 先生

講演Ⅲ 「慢性心不全と栄養管理」  
九州大学病院循環器内科 診療講師・医局長  
九州大学大学院医学研究院 循環器内科学 助教 肥後 太基 先生

\*お問合せは福岡県病院協会事務局（電話 092-436-2312）までお願いいたします。

## 機関誌「ほすびたる」広告料金表

区分	記表中			表紙			
	1頁	1/2頁	1/3頁	表2 (1/2頁)	表3 (1/3頁)	表4	
						(1/2頁)	(1頁)
1月分	15,000円	8,000円	7,000円	10,000円	9,000円	11,000円	20,000円
半年分 5%引	85,500円	45,600円	39,900円	57,000円	51,300円	62,700円	114,000円
1年分 10%引	162,000円	86,400円	75,600円	108,000円	97,200円	118,800円	216,000円

# 看護 の窓

## 就任のご挨拶

地方独立行政法人大牟田市立病院  
理事・副院長・看護部長 羽江 和子



平成28年4月1日より、地方独立行政法人大牟田市立病院の理事兼副院長兼看護部長を拝命しました羽江和子です。どうぞよろしく願い申し上げます。

大牟田市立病院は、福岡県の最南端の有明二次保健医療圏に位置し、熊本県の有明医療圏とも連携の深い急性期病院です。平成22年に地方独立行政法人となり、地域医療支援病院、地域がん診療連携拠点病院、災害拠点病院としての役割を担っています。今年4月に救急外来が新たに拡充オープンしました。昨年の内視鏡センターの拡充と共に、救急医療やがん治療に力を入れ、地域住民に愛される病院を目指しています。

当院の歴史をたどりますと、昭和12年に大牟田市診療所として開設し、昭和25年に大牟田市立病院としての歩みを始めました。診療所からの歴史をたどれば今年で79年です。地域の歴史と共にあゆみ、住民の健康といのち、笑顔を守り続けて来た歴史だと思えます。その歴史を描いてこられた諸先輩たちの努力に感謝し、今後さらに住民の身近な病院として成長し、未来へ看護を繋いでいくことができるようにしていきたいと思っております。

さて、看護部では、「感性豊かな看護」を理念に掲げ、看護職員個々の感性を磨き、患者のいのち、暮らし、尊厳を考えた質の高い看護を目指すこと、地域との連携を大切にすること、働きやすい職場環境作りを推進することを目標に掲げています。特に働きやすい職場作りでは、看護協会のワーク・ライフ・バランス推進事業に参加し、今年5月、日本看護協会長より「看護職のワーク・ライフ・バランス推進カンゴサウルス賞」いただきました。今後、やり

がいと、働きがいを感じ続けられる職場を目指して、業務改善や、看護の心を大事にする職場風土作りに取り組んでいきたいと思っています。

当院の正面玄関には、メタセコイヤの木があります。これはかつて石炭産業に賑わっていた大牟田を象徴する「石炭」の木です。この木を、私たちは「成長の木」と称し、人材育成のシンボルとしています。この木のように、まっすぐと、すくすくと成長し、四季折々の色々な表情で人の心に語り、さわやかさや、喜び、感動を、末永く受け継ぎ、石炭のように暖かい財産となるような看護を行っていききたいと思っています。

これからの少子超高齢社会において、地域のみなさんから求められる看護は何なのか、どのような活動や貢献ができるのか、職員みんなで共に考え、感性豊かな看護を目指していきたいと思っています。



メタセコイヤの木

## 中欧、音楽と歴史の旅 その2 医学史篇

国立病院機構 九州医療センター 名誉院長 朔 元 則  
学校法人原学園 原看護専門学校 学 校 長

### 近代外科学の先駆者達

今回の中欧旅行に際して、音楽会とともに私が楽しみにしていたのはウィーンのヨゼフィーヌム医学史博物館とブダペストのゼンメルワイス医学博物館を訪問することであった。

ヨゼフィーヌムはビルロート (Theodor Billroth, 1829 ~ 1894) が世界で最初に胃切除術に成功した時の切除標本が展示されているということでも有名であり、消化器外科医にとっては言わば聖地と言えるような博物館である。

ゼンメルワイス (Ignaz Philipp Semmerweis, 1818 ~ 1865) については「産褥熱対策に取り組んだ産科医」という程度の認識しか持っておられない方が多いと思うが、彼が提唱した接触感染の概念がその後の外科学の発展に大いに貢献したことを考えれば、彼は紛れもなく近代外科学の先駆者の一人である。

私は畏友小川道雄熊本大学名誉教授から、外科医の世紀 - 近代医学のあけぼの (Jürgen Thorwald 著、小川道雄訳、へるす出版社、2007年刊) という名著を御恵贈賜っていたので、ゼンメルワイスについての知識はあったのであるが、彼の名を冠した博物館がブダペストにあることは今回の旅行を思い立つまでは全く知らなかった。

### 時代に先行しすぎた悲劇の先駆者

ゼンメルワイスはハンガリー出身の医師で、ウィーン大学医学部を卒業後、28歳の若さでウィーン総合病院の第一産科の助手に就任した。ウィーン総合病院の産科は、医学生を教育する第一産科と助産師の実習の場となる第二産科に厳密に分けられていて、両者間に交流は全くなかった。

当時の産科における最大の課題は産褥熱であり、多くの産婦が産褥熱で命を落としていた。と

ころがゼンメルワイスが調査してみると、1846年の産褥熱による死亡者数は、第一産科では入院患者の11.4%を占めていたのに対し、第二産科では僅か0.9%と両科で大きな違いがあったのである。

両科の病舎は隣接しており患者背景にも全く差異がなかったので、産褥熱が当時考えられていたような真性伝染病であるならば、発症率、死亡率にこのように大きな差が出る筈がない。ゼンメルワイスはその原因究明に没頭するのであるが、周囲の医師達の態度は極めて冷やかであった。

そんなある日、同病院のコレチュカ教授が解剖実習中に受けた手の傷が原因で死亡したのであるが、その解剖所見は産褥熱で死亡した患者の所見と全く同じであった。この事実気付いたゼンメルワイスは「第一産科の学生達は解剖実習に引き続いて産科実習に従事しているが、第二産科の助産師達は解剖室に立ち入ることなど絶対にない。学生達は死体から何か目に見えない有害な物質を第一産科の実習室へ運び込んでいるのではないか?」という恐ろしい仮説に辿り着いたのである。

ゼンメルワイスは学生達に産科実習に入る前の手洗い励行を求めたり、医学界の大御所達に書簡を送ったりして、一人孤軍奮闘するのであるが、固定概念に凝り固まった医学界の大御所達は誰一人耳を傾けなかった。ハンガリー人の彼が書く論文はドイツ語の誤りが多かったし、大御所達への書簡もただただ攻撃的な文章であったことなども災いして、彼は結局ウィーン総合病院から追放され、失意の生活を故郷ブダペストで送ることになる。最後は精神に異常をきたし47歳の若さでこの世を去ってしまった。

ゼンメルワイスを一言で表現するならば、「時代に先行しすぎた悲劇の先駆者」ということになるだろうか…。彼がウィーン総合病院の第一産科の入口に「手洗い励行」の張り紙を掲げた1847年5

月という時は、後に細菌学を確立したコッホはまだ僅か4歳の幼児にすぎなかったのである。

以上は前述の小川先生の訳書からの要約であるが、この本にはこのほかに19世紀に活躍した外科医達の姿が詳述されている。外科系の先生方には是非お読みいただきたい。

## ゼンメルワイス医学博物館

ゼンメルワイス医学博物館はブダペストの中心部を流れるドナウ川の王宮側（ブダ地区）河畔にある。通常の観光ツアーには含まれてはいないが、観光名所のくさり橋（Chain Bridge）から川下に向かって10分間も歩けば簡単に行けるので散策がてらに訪問されることをお勧めする

私は家内と二人、午後の国会議事堂の見物をスキップして訪問したのであるが、客は私達二人だけであった。入場料を支払おうとすると年齢は何歳かと尋ねられ、70歳以上は無料ということであった。写真撮影を希望するならば600Ft（約300円）支払えばOKと言ってくれたので喜んで支払い、遠慮なくフラッシュを炊いて撮影した。

ゼンメルワイスが当時使用していた手術着や手洗い鉢、居室の復元など個人的な資料の他に、ハンガリーを中心とした様々な医学関係の資料がところ狭しと展示してあり、実に見ごたえのある博物館であった。

## ヨゼフィーヌム医学史博物館

博物館の建物は、ハプスブルグ家の皇帝ヨーゼフ二世（1741～1790）によって1785年に陸軍軍医学校として建設されたものである。そのためヨーゼフ二世の名前を冠してJosephinumと呼ばれているのであるが、現在はウィーン大学医学史博物館として利用されている。

ウィーン大学の近く、街の中心から少し離れたところに立地しており、トラムに乗って訪ねるのが便利である。電車通りに面しており、中庭には健康の女神ヒュギエア（医神アスクレピオスの娘で衛生学の語源で知られる）の大きな立像があるので判り易い。この博物館の難点は、開館時間が極めて限られていることであり、私も過去2回のウィーン訪問では訪れることが出来なかった。

今回はウィーン滞在2日目を一日自由行動の

日とし、3度目の正直でやっと訪れることが出来た。ところが大変残念なことに、恒久的な移設か一時的な貸し出しかは判らないが、ビルロートの胃切除標本が他の場所に移されていたのである。

ヨゼフィーヌムのもう一つの目玉展示物は、イタリア製のワックス人形ヴィーナス（腹壁を切り開いた状態で内臓が実物大で示されているが、人形の頭部と手足は若い女性の姿で妙になまめかしい）なのであるが、これは同じものがゼンメルワイス博物館にも展示されていたので私にとっては目新しいものではなかった。

その他の展示物は眼科学が発展していたウィーンらしく、精巧な眼の模型や眼科器械、蠟で出来た人体の解剖模型などがたくさん展示されていた。しかしお目当ての胃標本が不在であったことに加えて、前々日に見学したゼンメルワイス博物館の印象がまだ強く残っていたため、私には少し消化不良の感が残るヨゼフィーヌム訪問であった。

## 温故知新、稽古照今

今回の中欧の旅は医学博物館訪問の旅でもあったので、どうしても頭に浮かんでくるのが昨年完成した九大医学部の歴史博物館のことである。

私の思い過ごしかも知れないが、建設のための募金活動やその後の運営に関しての取り組み方を見ていると、熱心なのは同窓会であって、現役世代の教授、教官会等には、何かしら一歩退いた、少し冷めた雰囲気を感じているのである。

かつて司馬遼太郎氏は講演で、「文明国と野蛮国の違いは歴史を大切にしないかにある」と述べておられた。温故知新、稽古照今という言葉もある。過去の歩みをきちんと整理し検証してこそ新たな進歩があり、文明の発展もあるのではないだろうか。それには第一線で活躍中の現役世代がもっと歴史に関心を持つことが肝要であろう。

世界中から人が訪れるヨゼフィーヌム（入口に大きなゲストブックが設置されているので、それを見るとよく理解できる）やゼンメルワイス博物館には及ばぬとしても、九大医学歴史館がもっともっと充実して欲しいという思いにも駆られた今回の中欧の旅であった。

## 即席麺あれこれ

元 医療法人誠十字病院 安田 宏一  
平衡神経科 医師

即席麺には、二種類ある。袋麺とカップ麺である。袋麺は、鍋に湯を沸かし、その中に麺を入れてゆでる。カップ麺は、発泡スチロールまたは紙製の器に、麺が入っていて、そこに沸騰した湯をそそぐ。

袋麺の元祖は、日清食品のチキンラーメンである。1958年に作られた。カップ麺も同じく日清食品の発明で、カップヌードルが最初であった。1971年のことである。日清につづいて、明星・サッポロ一番(サンヨー食品)・マルちゃん(東洋水産)などが、即席麺を作りだした。そうして、その手軽さから、カップ麺が普及した。しかし一回湯を注ぐだけというのは、熱量として不十分である。麺の太さを細くしたり、平たくしたりする必要があった。平たい麺と言うのは、紙紐を噛んでいるようで、味気無かった。

そこで手軽なだけではなく、旨い即席麺を作ろうという機運が、芽生えてきた。袋麺の復活であ

る。東洋水産がまず、「マルちゃん・正麺」を出した。わたしの記録では、2012年のことである。これは、いままでのカップ麺にも、袋麺にも勝る旨さであった。日清もこの流れをうけて、カップ麺の銘柄だった「ラ王」を、袋麺にした。これも旨かった。豚骨味・塩味・醤油味・味噌味で、それぞれ麺の太さを変え、ゆでる時間をかえた。この心使いは、それまでのシリーズでは無いことだった。

ただ一つ困ることがある。それは「正麺」も「ラ王」も、めったにばら売りしていないことである。スーパーでもコンビニでも、5個入りパックで売っている。いくら旨くても、同じ味をつづけて5回はあきる。5個入りパックを、4種類置く場所もない。メーカーに、問い合わせてみたところ、うちではパック売りをするようにという指示はしていない。小売店か問屋の都合で、そうなっているのかもしれないと言う返事であった。



チキンラーメン



カップヌードル

# 人体旅行記

## 土踏まず

国立病院機構 九州医療センター 吉住 秀之  
医療情報管理センター 部長

踵から母趾へ至る途中に通過する足の裏は、アーチ状に湾曲しており、あたかも半島を湾岸沿いに岬まで旅をするようなものです。このアーチは踵骨、距骨、舟状骨、内側楔状骨及び第1中足骨からなる内側の縦アーチ、踵骨、立方骨及び第5中足骨からなる外側の縦アーチ並びに楔状骨、立方骨及び中足骨がつくる冠状面の横アーチがあります。二足歩行において体重を支えると同時に衝撃を軽くして地面を移動するという工学的課題を実にうまく解決した形態となっています。事実恒常的に二足歩行を行わないサルは扁平足で、足のアーチ構造はもちませんが、350万年前の私たちの祖先には足跡から土踏まずがあったことが報告されています。<sup>1)</sup> 片足には28個の骨、33の関節、12の腱そして18の筋肉から構成されており、レオナルド・ダ・ビンチは、「足は人間工学上、最大の傑作であり、かつ最高の芸術作品である」と述べています。

このアーチがクッションのように働くために張られているのが、足底腱膜で足が地面を踏み返すときに足底腱膜が巻き上げられ、足のアーチが拳上し、その復元力が前進のための推進力を生み出します。<sup>2)</sup> 扁平足になるとこのアーチ構造がくずれ、足が疲れやすくなります。

扁平足の症例といえば、お釈迦様がそうです。お釈迦様には凡夫と異なる32の身体的特徴（三十二相）があるといわれ、扁平足がその一つです（足下安平立相そくげあんびりゅうりゅうそうといわれます。<sup>3)</sup> 原始仏教では、釈迦の死後約400年は仏像を作成して崇める慣習がなかったため、釈迦の没後その足跡を象った石（仏足石）を礼拝していました。<sup>4)</sup>（足を崇めると

いうのは、なんとなくフェティシズムの匂いがしますが、そのことについてはまたいずれ）。そこには釈迦の徳を讃え、仏道を勧める二十一首の歌が刻まれています（足跡という限られた空間に文字を詰め込むために扁平足にならざるを得なかったのでしょうか）。

- 1) Capecchi V: Reflections on the footprints of the hominids found at Laetoli. *Anthropol Anz* 42: 81-86,1984
- 2) この働きは、船の錨を巻き上げる機械になぞらえてwindlass 機構（巻き上げ機構）と呼ばれます。散歩やランニングをするときに、足が錨を上げ帆を張って、道を軽やかに進むイメージを想像してみてください。
- 3) それだけではなく足の裏には輪状の相（千輻輪）があり（足下二輪相そくげにりんそう）、足の踵が広く平ら（足跟広平相そくげんこうびようそう）で、足の甲が亀の背のように盛り上がっている（足趺高満相そくふこうまんそう）という特徴があります。
- 4) 偶像崇拜がなかった文化に、なぜその後仏像がさかんに作られるようになったのかを巡っては、議論の多いところですが、偶像自体に価値を置かない原始仏教の考え方が、現実主義者のクシャン族がインド亜大陸へ侵入して仏教に改宗したことにより変容したという考察もあります。田辺勝美、「インド人仏教徒は何故、仏陀釈尊像を創らなかったのか」南アジア研究 22:234-244, 2011

## ●福岡県私設病院協会・福岡県医療法人協会プラザ

## 平成 28 年 6 月福岡県私設病院協会の動き

## ◎ 看護部長会運営委員会

日 時 6 月 3 日 (金) 午後 3 時

場 所 会議室

議 題

## 1. 協議事項

- (1)「11 月研修会」の企画開催(案)について
- (2)情報交換について
- (3)その他

## 2. 報告事項

- (1)前回議事録について
- (2)研修会について
- (3)私設病院協会 4 月～5 月の動き
- (4)その他

## ◎ 理事会

日 時 6 月 14 日 (火) 午後 4 時

場 所 会議室

議 題

## 1. 会長あいさつ

## 2. 新役員自己紹介

## 3. 協議事項

- (1)新役員体制による担当(案)について
- (2)行政・関係団体等の委員等就任(案)について
- (3)「事務長会運営委員会」・「看護部長会運営委員会」委員改選について
- (4)会員異動について
- (5)研修会について
- (6)地域医療構想策定について
- (7)福岡県地域医療支援センター運営委員会について
- (8)熊本地震による震災支援について
- (9)会員加入促進について
- (10)役員退職金について
- (11)参議院議員候補の推薦について
- (12)「第 10 回県民公開医療シンポジウム」

後援名義について

(13)平成 28 年度急患診療協力機関との懇談会開催について

(14)職員の夏季賞与について

(15)職員の人事について

## 4. 報告事項

- (1)私設病院協会
- (2)看護学校
- (3)医療関連協業組合
- (4)全日病本部・全日病福岡
- (5)その他報告事項

## ◎ 学校運営会議

日 時 6 月 14 日 (火) 午後 4 時 50 分

場 所 会議室

議 題

1. 平成 28 年度学校運営方針・対策について
2. 実習施設等の課題について

## ◎ 広報委員会

日 時 6 月 14 日 (火) 午後 4 時 50 分

場 所 協会事務室

議 題

1. 福私病ニュースの編集について
2. その他

## ◎ 研修会

日 時 6 月 16 日 (木) 午後 2 時

場 所 天神ビル 11 F 10 号会議室

演 題 「地域から必要とされる私設病院の要件  
～地域包括ケア時代における  
地域ニーズの捉え方、応え方～」

講 師 (一社)メディカルスタジオ

代表理事 坂本 文武 氏

参加状況 44 施設 107 名

## 理 事 会

### ◎ 第35回 理事会 報告書

日 時 平成28年6月21日 (火)  
16:00~17:00  
場 所 福岡県医師会館 6階 研修室3  
福岡市博多区博多駅南2丁目9-30

出席者 (敬称略)

会 長 石橋  
副会長 竹中  
理 事 上野専務理事、安藤総務理事  
平財務理事、津田企画理事  
飯田、一宮、大塚、小野、壁村  
小柳、島、津留、中山、二宮  
深堀、吉村  
監 事 田中、福重  
議 長 岡嶋  
副議長 梅野  
顧 問 草場  
オブザーバー 志波 (久留米大学病院長)

I 行政等からの通知文書の伝達  
特になし

### II 公益目的事業関係

#### 1 報告事項

(1) 各種委員会・研修会関係

#### 【開催予定】

ア 第146回 看護研修会 (島担当理事)

日 時 平成28年6月28日 (火) 9:20~

場 所 九州大学医学部百年講堂

テーマ 「中堅看護師の実践力向上」

I 「フィジカルアセスメントをどう記録  
につなげるか」

愛知医科大学病院

看護師長 小林 美和

II 「中堅看護師のための交渉術の極意」  
上都賀総合病院

副院長・看護部長 齋藤 由利子

イ リハビリテーション委員会

(津留担当理事)

日 時 平成28年7月14日 (木) 14:30~

場 所 福岡県医師会館 6階 研修室5

協議事項

1. 平成27年度第2回リハビリテーション研修会報告
2. 平成28年度研修計画  
第1回リハビリテーション研修会の開催について
3. その他

ウ 第147回 看護研修会 (島担当理事)

日 時 平成28年8月22日 (月) 9:20~

場 所 ナースプラザ福岡1F 「研修ホール」

テーマ 「看護業務における倫理について」

- I 「楽しく学ぼう! 看護の日常にある倫理的問題を解決するために」  
宮崎大学医学部社会医学講座生命・医療倫理学分野

教授 板井 孝彦郎

エ 第65回 栄養管理研修会 (吉村担当理事)

日 時 平成28年8月27日 (火) 9:50~

場 所 九州大学医学部百年講堂

「大ホール」

テーマ 「高齢者の栄養管理 —病態理解に基づいた栄養管理—」

I 「高齢者糖尿病の病態」

九州大学病院腎・高血圧・脳血管内科

九州大学大学院医学研究院病態機能

内科学 助教 中村 宇大

II 「慢性腎臓病の栄養管理」

福岡赤十字病院血液浄化療法内科

部長 満生 浩司

III 「慢性心不全と栄養管理」

九州大学病院循環器内科 診療講師・医局長  
九州大学大学院医学研究院循環器内  
科学 助教 肥後 太基

(2) 第34回理事会の議事録について  
(上野専務理事)

### Ⅲ 法人事務等関係

#### 1 報告事項

(1) 各種委員会関係

##### 【開催結果】

ア 第3回 ほすびたる編集委員会

(岡嶋編集委員長)

日 時 平成28年6月21日(火) 15:45~

場 所 福岡県医師会館 6階 研修室3

##### 協議事項

- ① 7月号の現況について
- ② 8月号、9月号の編集について
- ③ 広告掲載希望について
- ④ その他

##### 【開催予定】

ア 経営管理委員会(津留担当理事)

日 時 7月上旬頃

場 所 未定

##### 協議事項

1. 第1回 経営管理研究会について
2. その他

イ 第1回経営管理研究会(津留担当理事)

日 時 平成28年8月24日(水) 14:30~

場 所 九州大学医学部百年講堂

「大ホール」

テ ー マ 「保険診療における施設基準・  
適時調査について」

九州厚生局指導監査課 監査官

ウ 医療事務委員会(大塚担当理事)

日 時 7月上旬頃

場 所 未定

##### 協議事項

1. 第116回 医療事務研究会について
2. その他

(3) 収入・支出内訳表(4、5月分)について  
(平財務理事)

(4) 退会届、及び入会届について  
(上野専務理事)

福岡県立精神医療センター太宰府病院から  
退会届(二宮先生)と入会届(小嶋先生)  
が、公立八女総合病院から入会届(平城先  
生)が提出された。

(5) 日本赤十字「熊本地震災害義援金」への  
寄付(上野専務理事)  
赤十字義援金口座へ3万円振り込み済  
み。

(6) 病院長・幹部職員セミナー開催のご案内  
(安藤総務理事)  
日本病院会主催の研修が紹介された。

(7) 福岡県病院協会地域医療向上事業費補助  
金の交付額について(上野専務理事)  
前年度と同じく、611万円の交付金額  
が、県から通知された。

(8) 納涼会(上野専務理事)  
日 時 平成28年8月23日(火) 18:30~  
(ほすびたる編集委員会開催後)

場 所 ANAクラウンプラザホテル福岡

(9) その他  
① 第10回 県民公開医療シンポジウムについて  
(壁村理事)

② 一般社団法人全日病福岡講演会の案内  
(上野専務理事)

## 2 協議事項等

### (1) 第4回 定時会員総会の議案について

(上野専務理事)

#### ・第3号議案

任期満了に伴う役員の改選について

理事、監事、議長、副議長の立候補者数については、いずれも、定款に定める定数（理事は20名以上25名以内、監事3名以内、議長、副議長各1名）を越えるものではないため、総会では選挙を行わず、それぞれの方について信任を求めることになる。

#### ・第4号議案

異動に伴う参与の委嘱について

福岡銀行の有田<sup>ありたてつや</sup>徹也参与が4月に異動されたため、後任者の推薦を福岡銀行に求めたところ、新たな公務金融法人部長の<sup>なるせがくと</sup>成瀬岳人氏を推薦頂きましたので、総会で承認されれば、委嘱状を送付する予定。

両議案を定時会員総会の議案とすることが、異議なく承認された。

### (2) 八木博司元会長を顧問に委嘱する件

(上野専務理事)

この6月をもって、監事を退任される八木先生に、改めて顧問に就任されるよう依頼することを提案したい。この提案が、理事会で承認されたら、総会に提案する。

議長から承認を求めたところ、全員から拍手で承認された。

この件は、総会に提案されることになった。

## 3 その他

今回で退任される草場先生、福重先生、田中先生、二宮先生、中山先生、小野先生から挨拶を頂いた。会長から、理事会を代表して感謝を申し上げ、最後に全員で拍手をし、感謝の気持ちを表した。

【開催予定】（上野専務理事から）

### 1 平成28年7月

ア ほすびたる編集委員会・理事会

日 時 平成28年7月26日（火）

① 15：45～ ほすびたる編集委員会

② 16：00～ 理事会

場 所 福岡県医師会館6階 研修室3

### 2 平成28年8月

ア ほすびたる編集委員会・納涼会

(理事会はお休み)

日 時 平成28年8月23日（火）

① 18：15～ ほすびたる編集委員会

② 18：30～ 納涼会

場 所 ANAクラウンプラザホテル福岡

### (5) 最近の医療情勢について

竹中副会長からは、福岡県地域医療支援センター運営委員会における、専門研修プログラム調整委員会での議論について報告がなされた。

上野専務理事からは、医療事故調査制度について、最近の動きについて報告があった。そのことについて、安藤総務理事から、意見が出された。

安藤総務理事からは、診療報酬における消費税が、「控除対象外消費税の病院負担」となっている状況について、いくつかの懸念を述べられた。その補足として、国公立病院の現状について、石橋会長と、竹中副会長から説明がなされた。

# 平成 28 年度 病院長・幹部職員セミナー

## ～ 大きな変革期をむかえる、これからの病院医療と経営 ～

医療を取巻く環境、とりわけ社会保障制度が大きな転換期をむかえています。少子高齢社会に起因する人口動態の変化が最大の要因となっており、厳しい財政状況も相まって、将来の医療のあり方を見据えた制度設計が課題となっています。

これらのことを踏まえて、今年度の診療報酬改定では、2025 年に向けての地域包括ケアシステムと質の高い医療提供体制の構築、それに同ケアシステムの推進と医療の機能分化・強化および連携の充実が謳われています。今後、医療現場において直面する課題にいかに取り組んでいくのが最大の関心事となっており、その中で、病院長・幹部職員の役割が特に重要になってきています。

今回、こうした課題を中心に皆様とともに考えたいと思います。

多くの皆様の参加をお待ちしております。

日本病院会会長 堺 常雄

### 開催概要

日 時	平成 28 年 8 月 18 日 (木) 10:00 ~ 17:30 (情報交換会: 17:50 ~) 平成 28 年 8 月 19 日 (金) 9:00 ~ 11:55
主 催	一般社団法人 日本病院会
後 援	公益社団法人 日本看護協会 ※日本看護協会 会員を含む
会 場	イイノホール 東京都千代田区内幸町 2-1-1 TEL: 03-3506-3251
定 員	450名 (先着順)
参加費	会員施設: 25,000円 (税込) / 非会員施設: 30,000円 (税込) 情報交換会: 5,000円 (税込) ※各講師も参加します。事前申込が必要です
締切日	平成 28 年 8 月 3 日 (水) (定員になり次第申込受付終了)

※参加費には資料代が含まれます。※日本病院会会員については <http://www.hospital.or.jp/member.html> でご確認ください。

### お申し込みはホームページから

日本病院会ホームページ (<http://www.hospital.or.jp/>) の「講習会・セミナー」の「病院長・幹部職員セミナー」申込ページからお申込みください。

### 参加申込・確認書、参加費お振込についてのお問合せは

平成 28 年度 病院長・幹部職員セミナー運営事務局  
TEL: 03-5577-3642 / FAX: 03-5577-3641 / E-mail: is2016@hospital.or.jp  
※10:00~18:00 (土・日・祝日を除く)

### 内容についてのお問合せは

一般社団法人 日本病院会 病院長・幹部職員セミナー事務局 担当: 千須和、鈴木、佐藤  
〒102-8414 東京都千代田区三番町 9-15  
TEL: 03-3265-0077 / E-mail: is2016@hospital.or.jp  
※10:00~17:00 (土・日・祝日を除く)

### プログラム紹介

#### 1 日目: 平成 28 年 8 月 18 日 (木)

9:00-10:00	セミナー資料配付 (会場前受付にて)	
10:00-10:10	担当役員あいさつ 会長あいさつ	今泉 暢登志 堺 常雄

1 日目：平成 28 年 8 月 18 日（木） …… 続き

10:10-11:00	講演	地域医療構想への対応、病院運営にどう生かすのか	講師：木野 昌也 医療法人仙養会 北摂総合病院 理事長・院長
11:00-11:10		○ 休憩 ○	
11:10-12:00	講演	DiNQL を活用した看護の質管理	講師：川本 利恵子 公益社団法人日本看護協会 常任理事
12:00-13:00		○ 休憩 ○	
13:00-13:30	講演	日本病院会 出来高算定病院経営支援事業 —JHAstis（ジャスティス）について—	講師：大道 道大 社会医療法人大道会 森之宮病院 理事長・院長 日本病院会 副会長
13:30-13:40		○ 休憩 ○	
13:40-14:30	講演	医薬品・薬剤師をめぐる最近の話題 —制度・法改正に対応するために—	講師：土屋 文人 一般社団法人 日本病院薬剤師会 副会長
14:30-14:40		○ 休憩 ○	
14:40-15:30	講演	医療再編時代における診療情報管理 —診療情報管理で病院のブランド力を上げる—	講師：村中 光 独立行政法人国立病院機構 九州医療センター 病院長
15:30-15:40		○ 休憩 ○	
15:40-16:30	講演	地域完結型医療における退院支援 —平成 28 年度診療報酬改定の意味するもの—	講師：福井 トシ子 公益社団法人 日本看護協会 常任理事
16:30-16:40		○ 休憩 ○	
16:40-17:30	講演	混迷する専門医制度	講師：末永 裕之 小牧市民病院 病院事業管理者 日本病院会 副会長
17:50-		情報交換会 （各講師も出席します）	

2 日目：平成 28 年 8 月 19 日（金）

8:30- 9:00		受付	
9:00- 9:50	講演	医療事故調査制度 —管理者の責任と役割—	講師：木村 壮介 一般社団法人 日本医療安全調査機構 常務理事
9:50-10:00		○ 休憩 ○	
10:00-10:50	講演	医療機関におけるマイナンバー制度、電子処方箋、 地域医療と遠隔医療等への対応	講師：青木 一男 青木・関根・田中法律事務所 弁護士 日本病院会 認定個人情報保護団体 審査委員会委員
10:50-11:00		○ 休憩 ○	
11:00-11:50	講演	平成 28 年度診療報酬改定と 次回改定へ向けて	講師：万代 恭嗣 日本病院会 社会保険診療報酬委員会 委員長 独立行政法人地域医療機能推進機構 東京山手メディカルセンター 病院長 中央社会保険医療協議会 委員
11:50-		閉会あいさつ	今泉 暢登志



暑中お見舞い  
申し上げます。

2016（平成28）年

\*掲載は受付順にさせていただきました

## 久留米大学病院

理事長 神代 正道  
病院長 志波 直人

〒830-0011  
福岡県久留米市旭町 67 番地  
電話 (0942)35-3311 FAX (0942)32-6278  
URL <http://www.hosp.kurume-u.ac.jp>

地方独立行政法人 福岡市立病院機構  
**福岡市民病院**

院長 竹中 賢治

〒812-0046  
福岡市博多区吉塚本町 13 番 1 号  
電話 (092)632-1111 FAX (092)632-0900  
E-mail:shiminbyoin@fcho.jp  
URL <http://www.fcho.jp/shiminhp>

独立行政法人 国立病院機構  
**福岡東医療センター**

院長 上野 道雄

〒811-3195  
福岡県古賀市千鳥 1 丁目 1 番 1 号  
電話 (092)943-2331 FAX (092)943-8775  
E-mail:shomu@fukuokae2.hosp.go.jp

 日本医療機能評価機構認定病院  
救急告示・開放型 臨床研修病院指定



医療法人  
**西福岡病院**

理事長 安藤 文英  
院長 中垣 充

〒819-8555  
福岡市西区生の松原 3 丁目 18 番 8 号  
電話 (092)881-1331 FAX (092)881-1333  
E-mail:jim@nishifukuhp.or.jp  
URL <http://www.nishifukuhp.or.jp>

## 福岡逋信病院

院長 津田 泰夫  
副院長 和田 寛也

〒810-8798  
福岡市中央区薬院二丁目 6 番 11 号  
電話 (092)741-0300 FAX (092)781-2563  
E-mail:fteisin@f-teisinhp.jp  
URL <http://www.hospital.japanpost.jp/fukuoka>

医療法人

## 原 三 信 病 院

理事長 平 祐 二  
院 長

〒 812-0033  
福岡市博多区大博町 1 番 8 号  
電 話 (092)291-3434 FAX (092)291-3424  
URL <http://www.harasanshin.or.jp>

独立行政法人 国立病院機構

## 九州医療センター

院 長 村 中 光

〒 810-8563  
福岡市中央区地行浜 1-8-1  
電 話 (092)852-0700 FAX (092)847-8802  
URL <http://www.kyumed.jp>



医療法人 福岡桜十字

## 桜 十 字 福 岡 病 院

理事長 今 村 博 孝  
院 長

〒 810-0004  
福岡市中央区渡辺通 3-5-11  
電 話 (092)791-1100 FAX (092)791-1105  
E-mail:[fukuoka.info@sakurajyuji.jp](mailto:fukuoka.info@sakurajyuji.jp)

医療法人 佐田厚生会

## 佐 田 病 院

理事長 佐 田 正 之  
院 長 住 吉 金 次 郎

〒 810-0004  
福岡市中央区渡辺通 2 丁目 4 番 28 号  
電 話 (092)781-6381 FAX (092)724-9411  
E-mail:[info@sada.or.jp](mailto:info@sada.or.jp)

医療法人

## つ く し 会 病 院

理事長 中 村 奎 吾  
院 長 脇 坂 愛 次 郎

〒 816-0902  
福岡県大野城市乙金 3 丁目 18 番 20 号  
電 話 (092)503-2261 FAX (092)503-2474

社会医療法人 喜悦会

## 那 珂 川 病 院

理事長 井 上 史 子  
院 長 下 川 敏 弘

〒 811-1345  
福岡市南区向新町 2 丁目 17-17  
電 話 (092)565-3531 FAX (092)566-6460  
E-mail:[mail@nakagawa-hp.com](mailto:mail@nakagawa-hp.com)



日本医療機能評価機構認定病院  
救急病院 指定自立支援医療機関（更生医療）

医療法人 シーエムエス

## 杉循環器科内科病院

理事長 杉 健 三  
院 長

〒 837-0916  
福岡県大牟田市大字田隈 950-1  
電話 (0944)56-1119 FAX (0944)56-2077  
E-mail:info@sugi-hosp.jp  
URL <http://www.sugi-hosp.jp>

医療法人社団 筑山会

## 松 岡 病 院

理事長 松 岡 嘉 宣  
院 長

〒 821-0012  
福岡県嘉麻市上山田 1287  
電話 (0948)52-1105 FAX (0948)52-1926

独立行政法人 国立病院機構

## 小倉医療センター

院 長 澄 井 俊 彦

〒 802-8533  
福岡県北九州市小倉南区春ヶ丘 10 番 1 号  
電話 (093)921-8881 FAX (093)922-5072  
URL <http://www.kokura-hp.jp>

## 早 良 病 院

院 長 梅 野 守 男

〒 819-0002  
福岡市西区姪の浜 2 丁目 2 番 50 号  
電話 (092)881-0536 FAX (092)883-8761  
E-mail:info@sawara-hp.jp  
URL <http://www.sawara-hp.jp>

公立学校共済組合

## 九 州 中 央 病 院

病院長 飯 田 三 雄

〒 815-8588  
福岡市南区塩原 3 丁目 23-1  
電話 (092)541-4936 FAX (092)541-4540  
URL <http://kyushu-ctr-hsp.com>

医療法人 敬天会

## 武 田 病 院

理事長 武 田 卓  
院 長

〒 814-0104  
福岡市城南区別府 4 丁目 5 番 8 号  
電話 (092)822-5711 FAX (092)822-5714  
E-mail:keiten.hospital@herb.ocn.ne.jp

医療法人 博愛会

## 京都病院

みやこ

理事長 岡松 秀一  
院長

〒 824-0811  
福岡県京都郡みやこ町勝山箕田 298 番地  
電話 (0930)32-2711 FAX (0930)32-2848  
URL <http://www.miyako-hp.or.jp>

医療法人社団 水光会

## 宗像水光会総合病院

理事長 津留 英智  
院長 田山 慶一郎

〒 811-3298  
福岡県福津市日蒔野 5 丁目 7 番地の 1  
電話 (0940)34-3111 FAX (0940)43-5981  
E-mail:[hosp@suikokai.or.jp](mailto:hosp@suikokai.or.jp)

国家公務員共済組合連合会

## 千早病院

院長 明石 良夫

〒 813-8501  
福岡市東区千早 2 丁目 30 番 1 号  
電話 (092)661-2211 FAX (092)683-0411  
E-mail:[chihaya@chihaya-hp.jp](mailto:chihaya@chihaya-hp.jp)  
URL <http://www.chihaya-hp.jp/>

公益財団法人 健和会

## 健和会大手町病院

理事長 三宅 昌  
院長 西中 徳治

〒 803-8543  
北九州市小倉北区大手町 15-1  
電話 (093)592-5511 FAX (093)592-2726  
URL <http://www.kenwakai.gr.jp>

## aih 飯塚病院

innovate and evolve

院長 増本 陽秀

〒 820-8505  
福岡県飯塚市芳雄町 3 番 83 号  
電話 (0948)22-3800 FAX (0948)29-5744  
URL <http://aih-net.com>

医療法人 ユーアイ

## 西野病院

理事長 西野 豊彦  
院長

〒 820-0206  
福岡県嘉麻市鴨生 532 番地  
電話 (0948)42-1114 FAX (0948)42-4790

医療法人 済世会

## 河野病院

理事長 河野 正美  
院長 今泉 暢登志

〒 811-2413  
福岡県糟屋郡篠栗町大字尾仲 139  
電話 (092)947-0611 FAX (092)947-8598  
E-mail:info@kawano-hp.com

医療法人社団 江頭会

## さくら病院

理事長 江頭 啓介  
院長

〒 814-0142  
福岡市城南区片江 4 丁目 16 番 15 号  
電話 (092)864-1212 FAX (092)865-4570  
E-mail:info@sakurahp.or.jp

医療法人 相生会

## 福岡みらい病院

理事長 入江 伸  
院長 石東 隆男

〒 813-0017  
福岡市東区香椎照葉 3 丁目 6 番地 1 号  
電話 (092)662-3001 FAX (092)662-3002  
E-mail:info@fukuoka-mirai.jp

一般社団法人 福岡県社会保険医療協会

## 社会保険仲原病院

院長 岡嶋 泰一郎

〒 811-2233  
福岡県糟屋郡志免町別府北二丁目 12 番 1 号  
電話 (092)621-2802 FAX (092)623-2247  
E-mail:nhp-jimu1@nakabaru-hp.jp

国家公務員共済組合連合会

## 浜の町病院

院長 一宮 仁

〒 810-8539  
福岡市中央区長浜 3 丁目 3 番 1 号  
電話 (092)721-0831 FAX (092)714-3262  
E-mail:info@hamanomachi.jp  
URL <http://www.hamanomachi.jp>

一般社団法人 福岡県社会保険医療協会

## 社会保険田川病院

院長 田中 裕穂

〒 826-8585  
福岡県田川市上本町 10 番 18 号  
電話 (0947)44-0460 FAX (0947)45-6540  
E-mail:syomuka@s-tagawa-hp.tagawa.fukuoka.jp



日本赤十字社  
Japanese Red Cross Society

## 福岡赤十字病院

院長 寺坂 禮治

〒 815-8555  
福岡市南区大楠 3 丁目 1 番 1 号  
電話 (092)521-1211 FAX (092)522-3066

地域がん診療連携拠点病院  
地域医療支援病院

## 公立八女総合病院

企業長 平 城 守

〒 834-0034  
福岡県八女市高塚 540 番地 2  
電話 (0943)23-4131 FAX (0943)22-3185  
E-mail:yame-general@yamehp.jp



社会福祉法人 恩賜財団 済生会

## 済生会飯塚嘉穂病院

院長 迫 康 博

〒 820-0076  
福岡県飯塚市太郎丸 265  
電話 (0948)22-3740 FAX (0948)29-1987

医療法人社団 益豊会

## 今宿病院

理事長 深堀 元文  
院長

〒 819-0167 福岡市西区今宿 2 丁目 12 番 7 号  
電話 (092)806-0070 FAX (092)806-4417  
E-mail:info@imajuku-hospital.gr.jp

【関連施設】博多祇園メンタルクリニック  
〒 812-0038 福岡市博多区祇園町 4 番 61 号  
FORECAST 博多祇園 3 階  
電話 (092)262-6161 FAX (092)262-6162

## 宗像医師会病院

院長 大塚 毅

〒 811-3431  
福岡県宗像市田熊 5 丁目 5 番 3 号  
電話 (0940)37-1188 FAX (0940)37-0016  
URL <http://www.mmah.jp>



社会福祉法人 恩賜財団 済生会

## 済生会福岡総合病院

院長 岡留 健一郎

〒 810-0001  
福岡市中央区天神 1 丁目 3 番 46 号  
電話 (092)771-8151 FAX (092)716-0185  
E-mail:byoin@saiseikai-hp.chuo.hukuoka.jp  
URL <http://www.saiseikai-hp.chuo.fukuoka.jp>

## 社会医療法人 雪の聖母会

理事長 井手 義雄

### 聖マリア病院

病院長 島 弘志

〒 830-8543 福岡県久留米市津福本町 422  
電話 (0942) 35-3322 FAX (0942) 34-3115

### 聖マリアヘルスケアセンター

病院長 井手 睦

〒 830-0047 福岡県久留米市津福本町 448 番 5  
電話 (0942) 35-5522 FAX (0942) 34-3306

## 田 川 市 立 病 院

田 川 市 齋 藤 貴 生  
病院事業管理者  
病 院 長 鴻 江 俊 治

〒 825-8567  
福岡県田川市大字糺 1700 番地 2  
電話 (0947) 44-2100 FAX (0947) 45-0715  
E-mail:shiritsubyouin@lg.city.tagawa.fukuoka.jp  
URL <http://hospital.city.tagawa.fukuoka.jp>



医療法人 徳洲会

## 福岡徳洲会病院

院 長 海 江 田 令 次

〒 816-0864  
福岡県春日市須玖北 4 丁目 5 番地  
TEL (092) 573-6622 FAX (092) 573-1733  
E-mail:ftokushu@csf.ne.jp  
URL <http://www.f-toku.jp>

社会医療法人 天神会

## 新古賀病院・古賀病院 21 新古賀クリニック 野伏間クリニック

理事長 古 賀 伸 彦

〒 830-8577  
福岡県久留米市天神町 120  
電話 (0942) 38-2222 FAX (0942) 38-2255  
E-mail:info@tenjinkai.or.jp



(財)日本医療機能評価機構認定  
臨床研修指定病院

## 原 土 井 病 院

理事長 原 寛  
院 長 小 柳 左 門

〒 813-8588  
福岡市東区青葉 6 丁目 40 番 8 号  
電話 (092) 691-3881 FAX (092) 691-1059  
E-mail:info@haradoi-hospital.com  
URL <http://www.haradoi-hospital.com>



救急告示・開放型病院  
特定医療法人 八木厚生会

## 八 木 病 院

理事長 八 木 博 司  
院長代行 三 谷 昌 光

〒 812-0054  
福岡市東区馬出 2 丁目 21 番 25 号  
電話 (092) 651-0022 FAX (092) 631-1919  
URL <http://www.yagi.or.jp>

ほすびたる7月号をお届けします。

7月に入り、急に猛暑が襲来し、皆様には体調管理にご留意されていることと存じます。今月号もたくさんの素晴らしい原稿をお寄せいただきました。夏枯れどころか、大変充実した号を発刊することができました。著者の皆様に心より御礼を申し上げます。

さて、英国が国民投票の結果 EU を離脱 (Leave) すると決定したようですが、結果に納得しない人も多いようです。残留派 (Remain) の動きを含め、今後の成り行きが注目されています。私見ですが、英国人が EU を離れたがっていることには、なんとなく思い当たることがあります。以前、ドイツに留学していた時、ドイツ人から「あなたはアジア人でしょう?」と問われると、(もちろん、そうなのですが) 「ン、そうであったか?」と思わず考えてしまいました。周囲を海に囲まれた島国日本に居住する私にとって、アジア人というのはアジア大陸に住む人たちのことをいい、日本人はなんとなく離れた存在のような気がしていたのです。アジア人と呼ばれるのになじんでいないような感触がありました。そこで、やはり島国に住む英国人に同じような質問をしてみました。「あなたはヨーロッパ人と呼ばれたら、すんなりそうだと思いますか?」「自分たちはヨーロッパ人と呼ばれると変な感じがする。ヨーロッパ大陸に住んでいないからね」という返事が返ってきました。このような思いが今回の EU 離脱の根底にあったのかもしれませんが。そういえば、EU に加盟していても通貨はイギリスポンドのままでした。もともとヨーロッ

パというものに対して帰属意識が薄いのかもかもしれません。

英国のことを書きながら思い出しました。学会へ参加するため、家内とともにドイツからロンドンへ行った時のこと。今から 30 年以上前のことです。ドイツの旅行会社で手配してくれたロンドンのホテル。外目には立派でしたが中に入っていくと工事が途中で中断されたようなコンクリート丸出しの廊下や壁。いやな予感がしましたがそのままチェックイン。翌朝、ドーンという大きな音で起こされました。バスルームを覗いてみると、天井が崩れ落ちてバスタブが埋もれており、上を見ると大きな穴があいています。やって来た女中頭(?) みたいなおばさんが、「またなの?この前もあったのよ。総支配人を読んで部屋を変えてもらった方がいいわ。総支配人じゃなくちゃだめよ」。結局部屋を変えてもらって落ち着いたのですがバスルームの中になくてよかった、と思わずぞっとしました。そのようなことがあったにもかかわらず、イギリスの居心地がよかったのは、同じ島国であり、英国人の気質が日本人に似ているからでしょうか? しかし、007の映画に見るように、英国人はしたたかで、喰えない人が多いようにも思えました。えっ、編集委員会のメンバーもそうじゃないかって? そんなことはないですよ。みんな優しいアジア人ばかりですから。

今回の編集後記は天井が落ちた話を書きましたので、話の「落ち」はありません。

(岡嶋 泰一郎 記)

## 第147回 看護研修会のご案内

開催日 平成28年8月22日（月） 9：20～15：00

場所 ナースプラザ福岡 1F「研修ホール」  
福岡市東区馬出4丁目10-1

### 研修のねらい

日々、看護業務を行う中で「あれ？ おかしいな」とか「釈然としないな」と感じたことはありませんか？ 今回、中堅看護師以上を対象に倫理についての研修を企画しました。倫理的問題で悩んだり疑問を感じたりした時に、前向きな対応ができるよう今回の研修で学びます。

参加料 会員病院 1人につき 3,500円  
会員外病院 1人につき 5,000円

締切日 平成28年8月9日（火）

講演 I 「楽しく学ぼう！ 看護の日常にある倫理的問題を解決するために」

講師 宮崎大学医学部  
社会医学講座生命・医療倫理学分野 板井 孝吉郎 氏

\*お問合せは福岡県病院協会事務局（電話 092-436-2312）までお願いいたします。

---

### ほすぴたる

第 702 号

平成 28 年 7 月 20 日発行

発行 © (公社)福岡県病院協会

〒812-0016 福岡市博多区博多駅南2丁目9番30号  
福岡県メディカルセンタービル 2F  
TEL092-436-2312 / FAX092-436-2313  
E-mail: fukuoka-kenbyou@globe.ocn.ne.jp

編集 発行人 © (公社)福岡県病院協会

制作 © (株)梓書院

〒812-0044 福岡市博多区千代3-2-1  
麻生ハウス 3F  
TEL092-643-7075 / FAX092-643-7095  
E-mail: mail@azusashoin.com

編集主幹…石橋 達朗

編集委員長…岡嶋泰一郎

編集副委員長…竹中 賢治

編集委員…上野 道雄・安藤 文英

平 祐二・津田 泰夫

塚崎 恵子

---